

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



特集 若手教員研修(授業研究会)を実施しました!

小学校の若手教員研修では、四日市市立小学校長会との共催で5つのブロックごとに行う授業研究を研修内容に位置づけています。実際の授業を通して実践的に学ぶことがねらいです。今回は、6月24日に三重小学校を会場に行われたBブロックの研修会の様子と参加者の声をお伝えします!

授業研究 ~1年生 算数科「のこりはいくつ」~

暑さが増してきた午後の5限目、1年生の算数科「引き算」の授業研究が行われ、17名の若手教員が参観しました。

授業開始のチャイムと同時に、フラッシュカードを用いた数字と数のイメージを一致させる学習や、いくつといくつで10になるかのゲーム形式の学習でテンポよく始まりました。子どもたちの集中力がぐっと高まったところで、具体物を用いて引き算の意味と式を結びつける学習へと展開していきました。



「5!」「7!」
元気のいい子どもの声が授業開始と同時に教室にひびきます!



先生:「2!」パン!パン!(2拍手)
子ども:「8!」
テンポよく10の合成を復習です。

事後研修会

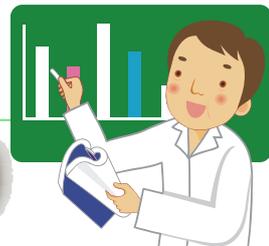
事後研修会は、授業で1番印象に残ったことを参加者1人1人がA4の紙に書きました。それをホワイトボードへカテゴリーに分けて貼りながら、議論を焦点化していきます。討議の柱は「導入」「具体物の効果、使い方」「授業規律等の指導」の3点にしばられました。若手同士、自分の授業に置き換えながら話し合う姿が見られ、活発な意見交換がなされました。



教育支援課より

教育支援課指導主事から、主に次のような観点で助言を行いました。

- ・ 1時間の授業構成を考えるコツ
- ・ 発問をした後の教師の対応



また、子どもがつまずきやすい問題を例に、d book(デジタル教科書)を活用した算数科の授業事例の紹介を行いました。

参加者の声



- ・ 子どもに1つ1つの指示を理解させ、行動に移させるためには、教師の働きかけ・工夫がすべてなのだと感じました。子どものせいではなく工夫が足りないのだと感じました。
- ・ 授業のはじめにフラッシュカードを使うことは、子どもの集中度や学習を始める姿勢づくりに有効だと感じたので、すぐに取り入れていきたいと思いました。



- ・ 同じことで悩んでいた、困っていたり、考える部分が似ているメンバーで研修というのはとても新鮮だった。同年齢同士だからこそ見えるものがあると感じました。
- ・ d bookなどを活用して目で見て分かる授業がしたくなりました。

- 教育支援課では、それぞれの先生のライフステージにあった研修講座を、夏季休業中にたくさん用意しており、若手教員を対象とした講座も充実しています。このような講座は、今回の授業研究会に参加された若手の先生の「研修で学び、子どもたちに分かる授業をしたい！」というような強い思いに応えることは間違いありません。
- 自分の力量を高める鍵は、この夏季研修にあります！

若手スキルアップ研修

この夏、あなたはどの講座で研修を深めますか？

7月22日 学力向上・授業作り
若手教師のための「授業づくり悩み相談室」
【講師】下野小学校 教諭 生川 恵美

8月4日 運動指導方法研修
「中学生のためのスポーツ指導の基礎・基本」～適切な指導方法を学ぼう！若手教師編～
【講師】朝日中学校 教諭 大橋 賢二

8月10日 学級・授業づくり
「ことばで伝え合う学級づくり」～ユーモア詩で笑った！泣いた！どんぐり先生と子どもたち～
【講師】白梅学園大学教授 准教授 増田 修治

8月16日 ICT活用・授業づくり
「すぐに使える！電子黒板活用術」～ICTで若手教師の授業をステップアップ～
【講師】教育支援課 指導主事

8月20日 ※若手教員対象研修 教育セミナー 学力向上・授業作り研修
「ICTを活用した授業づくり①」
【講師】大阪教育大学 教授 木原俊行 / 四日市市立小山田小学校



エネルギーにあふれる若手教員を教育支援課は応援します！